

第4回日・カリコム外相会合 共同閣僚声明 (骨子)

1. 総論

日本とカリブ共同体（カリコム）が、共通の課題に直面し、基本的価値を共有するグローバル・パートナーであることを確認。日・カリコム首脳会合を踏まえ、以下3つの柱に関連する様々な分野での協力する決意を表明。

2. 第一の柱：小島嶼開発途上国特有の脆弱性克服を含む持続的発展に向けた協力

- 岸田大臣は、日本が小島嶼開発途上国特有の脆弱性をめぐる国際場裡における議論に積極的に参画していくこと、経験に培われた日本の技術や知見を活かし、防災、環境・気候変動対策、エネルギー、廃棄物処理、水産等の分野で支援を継続することを改めて表明。
- カリコム外相は、日本の連帯、カリコム諸国の脆弱性克服の鍵となる再生エネルギー・省エネルギー分野での調査その他の支援、一人当たりの所得水準とは異なる観点から支援が重要との認識に謝意と期待を表明。
- 日カリコム友好協力基金を通じたより効果的な協力を継続。

3. 第二の柱：交流と友好の絆の拡大と深化

- 日・カリブ交流年を契機とした交流の深化及び一層の関係強化で一致。
- JET プログラムや若手外交官招聘等の人物交流プログラムの継続、スポーツを通じて友好関係の促進と相互協力に取り組む。
- 岸田大臣が、カリコムにおける日本語教育支援の推進を表明。
- 双方向の観光客の増加に向けて、観光分野の促進及び協力。

4. 第三の柱：国際社会の諸課題の解決に向けた協力

- 国連創立70周年の明年に具体的な成果を得るため、国連安保理改革で多くの共通点を有する双方の立場を収れんさせるための連携強化で一致。
- 防災、ミレニアム開発目標及びポスト2015年開発アジェンダ、気候変動分野等において緊密に協力していくことで一致。
- 国際法に則った海洋秩序の維持、航行の自由と安全の確保の遵守、軍縮・不拡散、北朝鮮情勢等の分野で認識が一致、協力を確認。
- 海洋生物資源の持続可能な利用の重要性についての広範な支持獲得に向けた協力で一致。
- 岸田大臣から、日本の国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場からの世界の平和と安定への取組を説明。カリコム側外相はこれを歓迎・支持。
- 日・カリコム間の高いレベルでの政治対話の重要性を強調。 (了)